

第14回ヴズール国際アジア映画祭  
観客賞(ドキュメンタリー映画最優秀賞)受賞作品

# 破片のきらめき

心の杖として鏡として 特別編



撮影・監督・編集：高橋慎二 製作：心の杖として鏡として製作委員会 ナレーション：吉行和子

『破片のきらめき』(2008、75分)に登場する画家の故石原峯明さんに焦点を当て再編集した特別編(2017、95分)を上映。

病とは何か、表現とは何か、生きるとは何か、困難な時を生きるすべての人たちに

映画<sup>話</sup>  
@TAMA # 15

映画を観た後に仲間や監督などゲストとグラスを傾けながら話し合う。それはDVDでもネットでも味わえないダイナミックで貴重な体験です。映画について人と語り合い、その意見の多様さに直接触れる豊かさ。自宅のようにくつろげるバーでお酒に美味しいお料理も。静かに耳を傾けるだけでもいい。来れば何が変わるかも。



2017 12/2(土) 特別編 (95分) 上映 15:00

開場15分前、上映後、同会場で懇親会

懇親会 17:00 1時間

入場料：¥1,000 (定員20名)

懇親会(1ドリンク軽食付き)：¥2,000

ゲスト：高橋慎二 監督

会場：シネマカフェバー モンキーランド

多摩市豊ヶ丘1-11-1(小田急・京王多摩センター駅から徒歩15分)

お申し込みは、予約フォーム [www.taenoha.com](http://www.taenoha.com)

または 050-5891-1977 office@taenoha.com

主催：たえのは



たえのは

検索



/taenoha



@taenoha

2017年12月2日(土)

ドキュメンタリー映画 95分特別編

# 破片のきらめき

心の杖として鏡をじで

精神科病院の中にある造形教室。このアトリエには様々な困難を抱えながら生きている人たちがやって来る。アトリエを主宰する安彦講平さんは、彼らに寄り添って40年、共に在る、かけがえのない創作の場を作りだしてきた。カメラは、彼らとの10年以上にわたる交流を経て、現代には稀に見る“魂の営みの場”を捉えた。

“病んでいる”と言われている人たちの描き出す作品群は、現代社会が見失ってしまったもの、私たちにとってかけがえのないものをくっきりと浮かび上がらせています。この映画は、彼らの作品群と彼ら自身の生き方を通して“病む”とは何か、“表現”とは何か、そして“生きる”とは何かを静かに問いかけています。

## 2008年ヴズール国際アジア映画祭 観客賞(ドキュメンタリー映画最優秀賞)受賞 (仏題)「Le cri du cœur」

**芸術の国、フランスの心を揺さぶった“心病む芸術家”たち**  
精神に病を来たし社会から遠ざけられた人たちが芸術を通して真剣に生きている姿、彼らの友情を謙虚に撮影したこのドキュメンタリーは我々を心深く感動させるフィルムである。10年間に亘る敬虔なこの製作に対しヴズールの市民(観客)はドキュメンタリー映画最優秀賞を授与する。

[ヴズール国際アジア映画祭]

### 〈フランスから寄せられたメール〉

- この映画は「心(coeur)の叫び」を聞かせてくれるだけでなく「叫びのただ中(coeur)」に引き込んでくれる作品である。
- ここには偉大な映画的アプローチがあり、安彦氏がアトリエの参加者たちと共に完成させた仕事を見事な的確さで証言しています。彼の仕事は薬の代用物でもないし、さらには何らかのセラピーでもありません。むしろ、芸術の実践を通して、実存への愛着および、なじうる絆を強める可能性をもたらそうとして開かれたひとつの扉なのです。
- 彼らの創作活動は「治療」という唯一の目標を超えており、創作活動は他の芸術家と同じく彼らの人生設計になったのである。



映画は映だ。  
この「不思議な空気」は一体何だろう?  
と、心の傷を抱えた人たちのアトリエを、  
丁度、窓からのぞき込むような気分で横ていた私は  
途中から、映画は映だ、と思うようになった。  
この映画には私が写っている。  
私たちが写っている。

ドキュメンタリーアート監督 伊勢真一

撮影・監督・編集：高橋慎二

ナレーション：吉行和子 プロデューサー：中村等 / 作曲：長谷川亮介 / 編曲：石原眞司 / 音楽・効果：田辺信道 / 録音：田高伸悟 / 照明：城所美和

### 会場：シネマカフェバーモンキーランド

ニュータウン通り

多摩市豊ヶ丘1-11-1

小田急・京王多摩センター駅 東口から徒歩15分

道順：

東口を出て右手、新宿方向に線路沿い(高架下)を直進。  
信号を2つ渡り、「麵でる」を左折、乞田川沿いを右折。

2つの橋を過ぎて3つ目の橋の手前、白い階段が入口です。

お申し込みは、予約フォーム [www.taenoha.com](http://www.taenoha.com) または 050-5891-1977 office@taenoha.com

主催：たえのは



たえのは

検索



/taenoha



@taenoha